

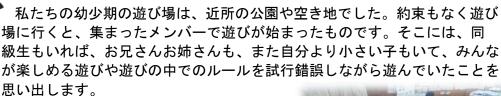
かけはし



文責:小倉

異年齢で遊ぶことの大切さ

~「縦割り班」活動始動!~



ただ、最近は遊び場所の環境の変化や、ゲーム機の普及による遊びの内容の変化など、「**異年齢の関わり**」や「大人数の関わり」が少なくなっているのが現状です。このような経験から得られる「年下の子を思いやる心」や「お兄さんお姉さんへの憧れの気持ち」を育む機会が減少していることに危機感を感じているところです。

まずは、自己紹介から

そこで、不知火小学校では、このような「異年齢」のかかわりを学校内で意図的に仕組む事としました。1年から6年までからなる班を作り、この「縦割り班」で、様々な活動をしようというものです。 先日、グループで顔合わせを行い、お兄さんお姉さんである高学年のリードで、まずみんなで仲良く遊ぶ計画を立てました。今後は遊びだけでなく、様々な活動にも取り組んでいきたいと思っています。 子供たちは、この活動の中からたくさんの事を感じ、そして学んでくれるものと期待しています。



自分の命は自分で守る ~ 着衣水泳 ~

本格的な夏の到来の前に、ニュースでは水に関する痛ましい事故の報道が絶えません。海や川での水遊びは、夏の大きな楽しみですが、常に命に関わる危険性が潜んでいます。

そこで、5,6年生は「突然、川や海に落ちたらどうするか」をテーマに、着衣水 泳に取り組みました。当日は、宇城広域連合消防本部から現役の消防士の方においで いただき学びを進めました。



ポイントは、 「泳ぐ」 ではなく、 「浮いて、 待つこと」



「かけはし」 のカラー版は、 学校ホーム ページからご 覧いただけま す。

